施設カルテ

施設番号	23	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	三勲　分団機庫		
所在地（住所）	中区中納言町0002-0017-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	中区本庁管轄区域
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	操山中学校	小学校区	三勲小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	66.24 ㎡
目的外使用	無	建築面積	33.12 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	136.10 ㎡

施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

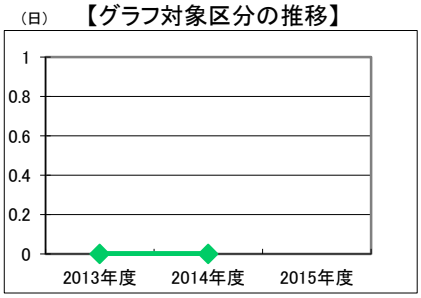
用途地域	近隣商業地域	法定容積率	200　%	法定建蔽率	80　%
用途地域以外の指定地域	準防火地域	全棟数	1　棟	駐車台数	1　台

設備整備状況			環境配慮		バリアフリー化			ハザードマップ指定	
備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×	出入口	×	洪水時の浸水深	0.01～0.5m未満
災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし
冷暖房設備	○	設備（電気）	×	階段	×	地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域
通信設備	×	設備（雨水・中水）	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
調理設備	×	その他省エネ	×	便所	×	地震・液状化危険度	きわめて高い
入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
代替電源設備	×	アスベストの使用	無	開設年月日	2014/03/28	供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数（日）

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
［利用コマ数］,［利用可能コマ数］

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	23	施　設　名	三勲　分団機庫

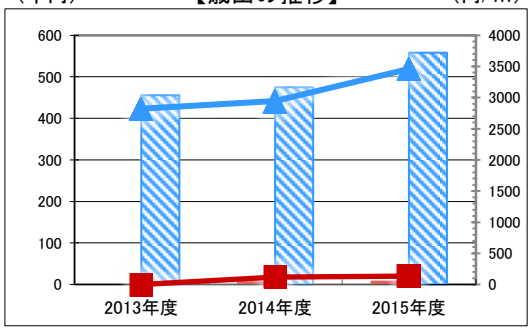
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				0	8	9
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	0	8	9
			ガス	0	0	0
			水道	0	0	0
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

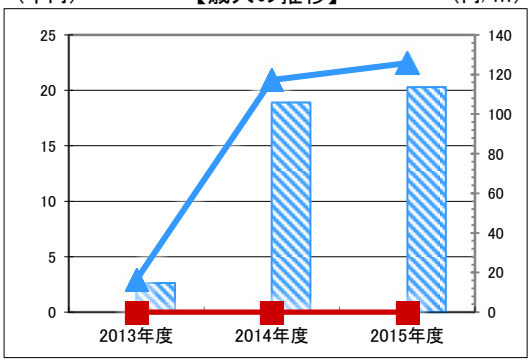
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	0	－	0	－
2014年度	8	第160位	122	第175位
2015年度	9	第146位	137	第168位

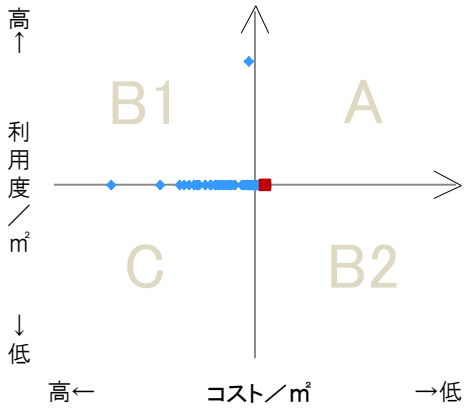
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	23	施　設　名	三勲　分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	木造Ⅰ	2014/03/28	2	0	66.24		

施設カルテ

施設番号	26	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	大曲　都　分団機庫		
所在地（住所）	南区藤田0349-010-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	藤田
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	藤田中学校	小学校区	第一藤田小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	62.47 ㎡
目的外使用	無	建築面積	62.47 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	247.08 ㎡

施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

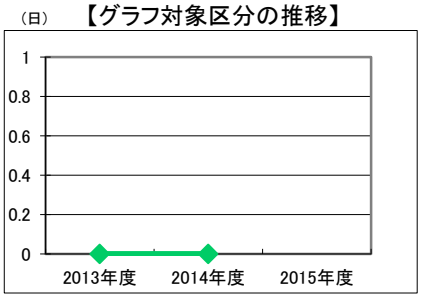
用途地域	指定なし	法定容積率	200　%	法定建蔽率	60　%
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1　棟	駐車台数	1　台

設備整備状況			環境配慮		バリアフリー化			ハザードマップ指定	
備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×		出入口	×		洪水時の浸水深	0.01～0.5m未満
災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×		廊下等	×		津波時の浸水深	0.3～1.0m未満
冷暖房設備	○	設備（電気）	×		階段	×		地震・危険度	建物全壊率が5～7%の地域
通信設備	×	設備（雨水・中水）	×		昇降機	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
調理設備	×	その他省エネ	×		便所	×		地震・液状化危険度	低い
入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙		駐車場	×		土砂災害計画区域等	指定なし
代替電源設備	×	アスベストの使用	無		開設年月日	1997/03/31		供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数（日）

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
［利用コマ数］,［利用可能コマ数］

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	26	施　設　名	大曲　都　分団機庫

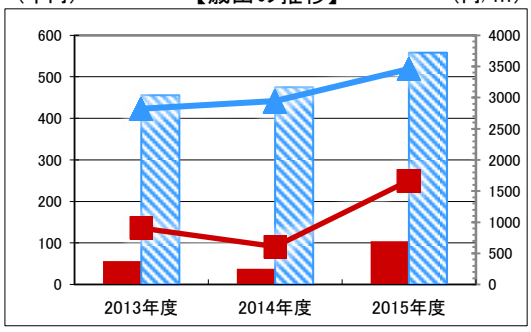
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				57	38	104
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	48	29	33
			ガス	0	0	0
			水道	8	9	10
		修繕費		－	－	61
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

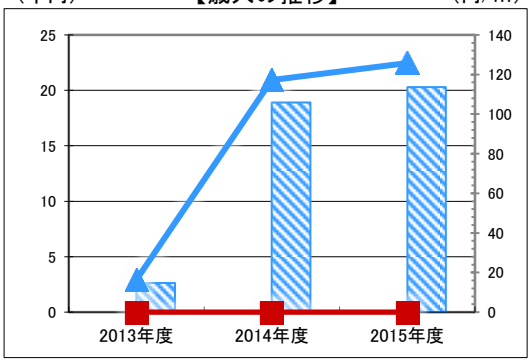
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	57	第32位	907	第48位
2014年度	38	第54位	609	第72位
2015年度	104	第31位	1,668	第33位

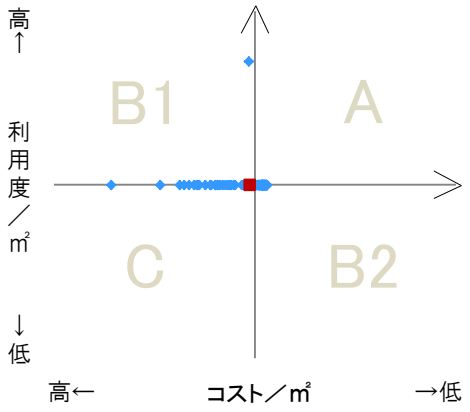
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	26	施　設　名	大曲　都　分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	木造Ⅰ	1997/03/31	1	0	62.47		

施設カルテ

施設番号	27	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施設名	錦　分団機庫		
所在地(住所)	南区藤田0595-027-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地区	藤田
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	藤田中学校	小学校区	第二藤田小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	62.43 ㎡
目的外使用	無	建築面積	62.43 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	99.00 ㎡

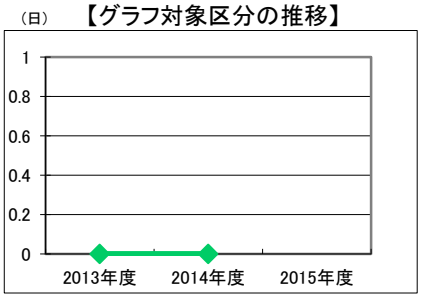
施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

用途地域	指定なし			法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %
用途地域以外の指定地域	指定なし			全棟数	1 棟	駐車台数	1 台
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮 自然エネルギー・太陽光	×	バリアフリー化 出入口	×	ハザードマップ指定 洪水時の浸水深	0.01～0.5m未満
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	廊下等	×	津波時の浸水深	0.3～1.0m未満
	冷暖房設備	○	設備(電気)	×	階段	×	地震・危険度	建物全壊率が10～20%の地域
	通信設備	×	設備(雨水・中水)	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6強の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	便所	×	地震・液状化危険度	低い
	入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	開設年月日	1998/03/31	供用廃止日	ー

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数(日)

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
[利用コマ数],[利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	27	施　設　名	錦　分団機庫

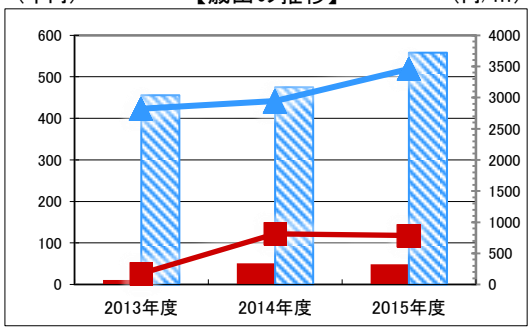
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				11	51	49
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	3	42	38
			ガス	0	0	0
			水道	8	9	11
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

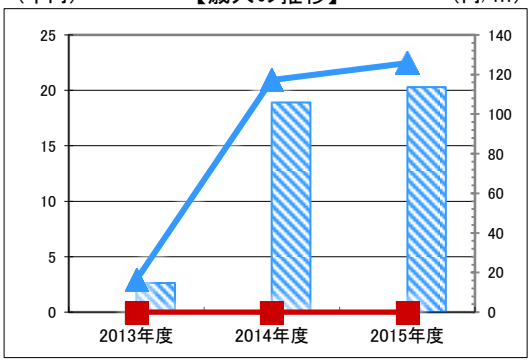
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	11	第141位	177	第154位
2014年度	51	第38位	814	第56位
2015年度	49	第39位	785	第52位

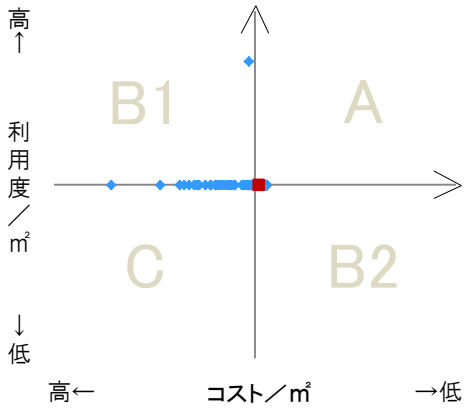
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：　■…当該施設　　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	27	施　設　名	錦　分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)倉庫	木造Ⅰ	1998/03/31	1	0	62.43		

施設カルテ

施設番号	28	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	都六区　分団機庫		
所在地（住所）	南区藤田1169-003-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	藤田
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	藤田中学校	小学校区	第三藤田小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	62.15 ㎡
目的外使用	無	建築面積	62.15 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	108.99 ㎡

施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する。
設置根拠	消防法、消防組織法

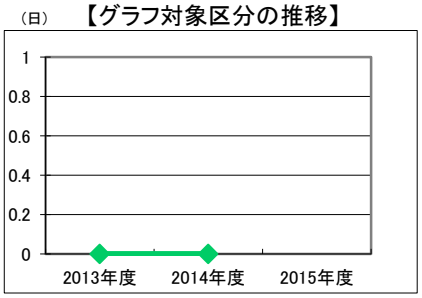
用途地域	指定なし	法定容積率	200　%	法定建蔽率	60　%
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1　棟	駐車台数	1　台

設備整備状況			環境配慮		バリアフリー化			ハザードマップ指定	
備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×		出入口	×		洪水時の浸水深	1.0～2.0m未満
災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×		廊下等	×		津波時の浸水深	1.0～2.0m未満
冷暖房設備	○	設備（電気）	×		階段	×		地震・危険度	建物全壊率が7～10%の地域
通信設備	×	設備（雨水・中水）	×		昇降機	×		地震・揺れやすさ	震度6強の地域
調理設備	×	その他省エネ	×		便所	×		地震・液状化危険度	極めて低い
入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙		駐車場	×		土砂災害計画区域等	指定なし
代替電源設備	×	アスベストの使用	無		開設年月日	1995/12/25		供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数（日）

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
［利用コマ数］,［利用可能コマ数］

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	28	施　設　名	都六区　分団機庫

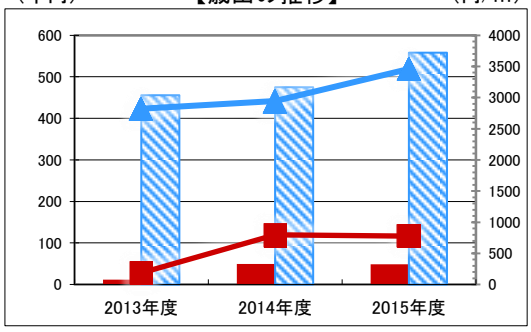
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				12	49	48
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	12	49	48
			ガス	0	0	0
			水道	0	0	0
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

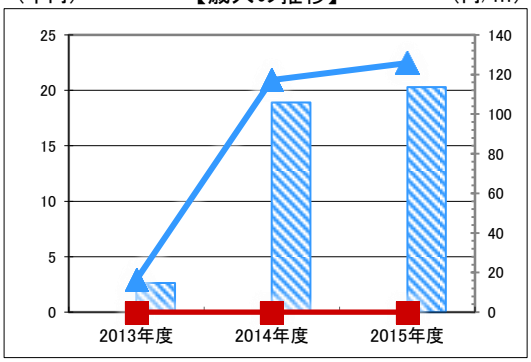
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	12	第138位	187	第152位
2014年度	49	第39位	796	第57位
2015年度	48	第40位	778	第55位

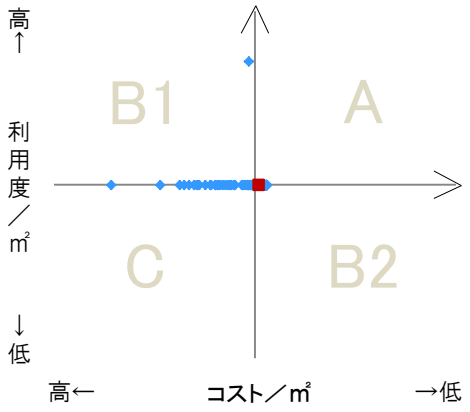
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：　■…当該施設　　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	28	施　設　名	都六区　分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	木造Ⅰ	1995/12/25	1	0	62.15		

施設カルテ

施設番号	29	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	錦六区　分団機庫		
所在地（住所）	南区藤田1878-001-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	藤田
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	藤田中学校	小学校区	第三藤田小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	62.46 ㎡
目的外使用	無	建築面積	0.00 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	198.34 ㎡

施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する。
設置根拠	消防法、消防組織法

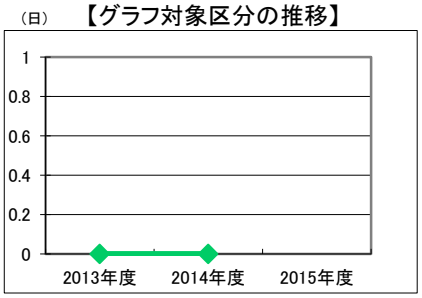
用途地域	指定なし	法定容積率	200　%	法定建蔽率	60　%
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1　棟	駐車台数	1　台

設備整備状況			環境配慮		バリアフリー化			ハザードマップ指定	
備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×		出入口	×		洪水時の浸水深	1.0～2.0m未満
災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×		廊下等	×		津波時の浸水深	1.0～2.0m未満
冷暖房設備	○	設備（電気）	×		階段	×		地震・危険度	建物全壊率が7～10%の地域
通信設備	×	設備（雨水・中水）	×		昇降機	×		地震・揺れやすさ	震度6強の地域
調理設備	×	その他省エネ	×		便所	×		地震・液状化危険度	極めて低い
入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙		駐車場	×		土砂災害計画区域等	指定なし
代替電源設備	×	アスベストの使用	無		開設年月日	1999/03/25		供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数（日）

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
［利用コマ数］,［利用可能コマ数］

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	29	施　設　名	錦六区　分団機庫

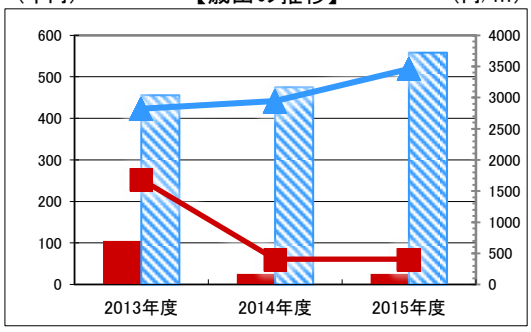
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				105	25	26
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	4	17	16
			ガス	0	0	0
			水道	9	9	10
		修繕費		93	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

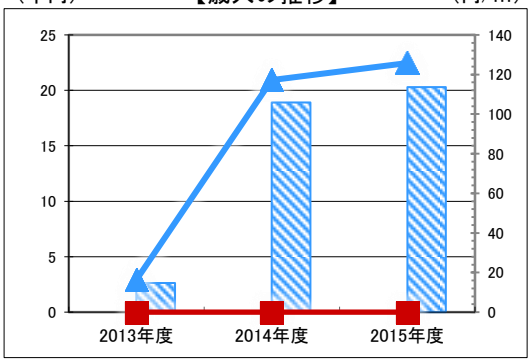
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	105	第25位	1,684	第38位
2014年度	25	第94位	407	第114位
2015年度	26	第78位	411	第105位

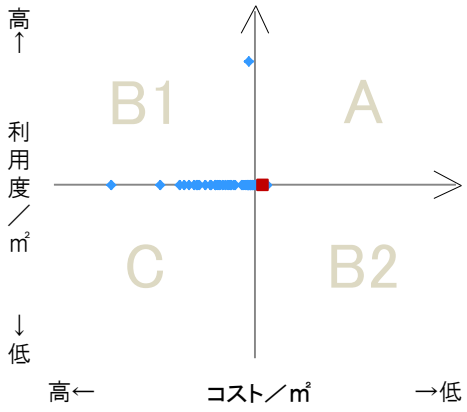
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：　■…当該施設　　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	29	施　設　名	錦六区　分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	木造Ⅰ	1999/03/25	1	0	62.46		

施設カルテ

施設番号	31	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	旭東　分団機庫		
所在地（住所）	中区門田屋敷本町1-116		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	中区本庁管轄区域
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	操山中学校	小学校区	三勲小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	67.56 ㎡
目的外使用	無	建築面積	0.00 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	198.41 ㎡

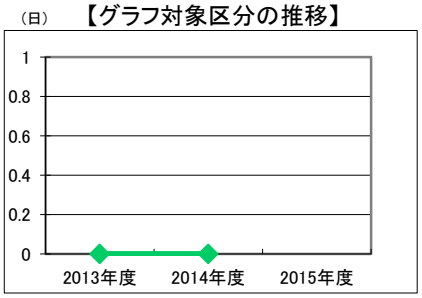
施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する。
設置根拠	消防法、消防組織法

用途地域	近隣商業地域			法定容積率	200　%	法定建蔽率	80　%
用途地域以外の指定地域	防火地域			全棟数	1　棟	駐車台数	1　台
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮 自然エネルギー・太陽光	×	バリアフリー化 出入口	×	ハザードマップ指定 洪水時の浸水深	0.5～1.0m未満
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	○	設備（電気）	×	階段	×	地震・危険度	建物全壊率が5～7%の地域
	通信設備	×	設備（雨水・中水）	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	便所	×	地震・液状化危険度	低い
	入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	開設年月日	1993/03/23	供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数（日）

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
［利用コマ数］,［利用可能コマ数］

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	31	施　設　名	旭東　分団機庫

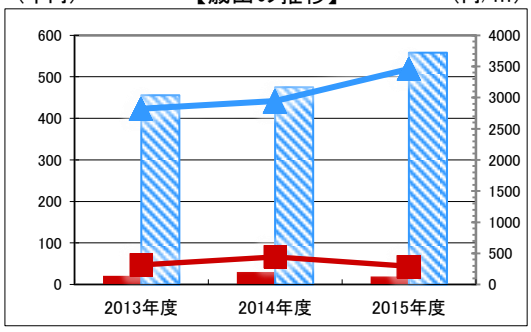
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				21	30	20
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	13	14	13
			ガス	0	0	0
			水道	9	16	7
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

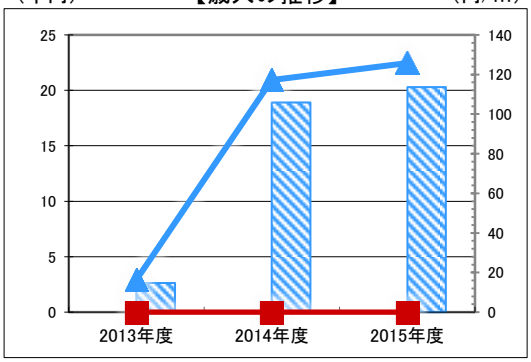
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	21	第91位	316	第122位
2014年度	30	第74位	446	第104位
2015年度	20	第110位	293	第134位

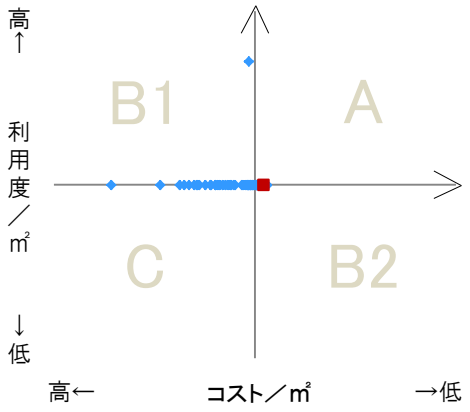
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	31	施　設　名	旭東　分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	木造Ⅰ	1993/03/23	2	0	67.56		

施設カルテ

施設番号	33	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	内山下　分団機庫		
所在地（住所）	北区内山下一丁目0003-118-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	北区本庁管轄区域
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	岡山中央中学校	小学校区	岡山中央小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	49.05 ㎡
目的外使用	無	建築面積	24.53 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	32.62 ㎡

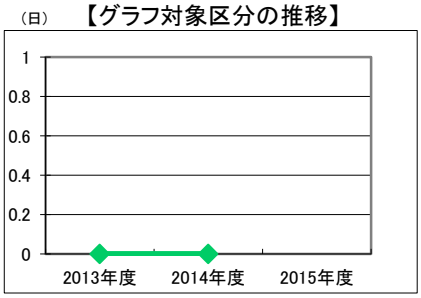
施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もてえ安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

用途地域	近隣商業地域			法定容積率	500 %	法定建蔽率	80 %
用途地域以外の指定地域	防火地域			全棟数	1 棟	駐車台数	1 台
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮 自然エネルギー・太陽光	×	バリアフリー化 出入口	×	ハザードマップ指定 洪水時の浸水深	0.01～0.5m未満
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	○	設備（電気）	×	階段	×	地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域
	通信設備	×	設備（雨水・中水）	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	便所	×	地震・液状化危険度	高い
	入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	開設年月日	1997/03/31	供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数（日）

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
［利用コマ数］,［利用可能コマ数］

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	33	施　設　名	内山下　分団機庫

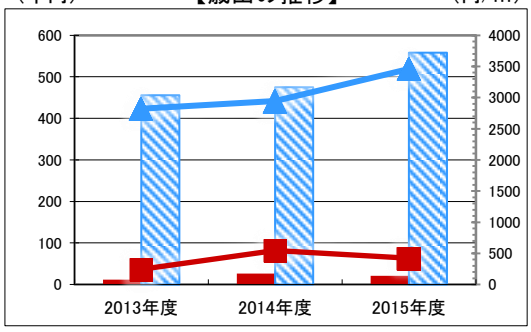
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				12	27	21
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	4	11	13
			ガス	0	0	0
			水道	8	16	7
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

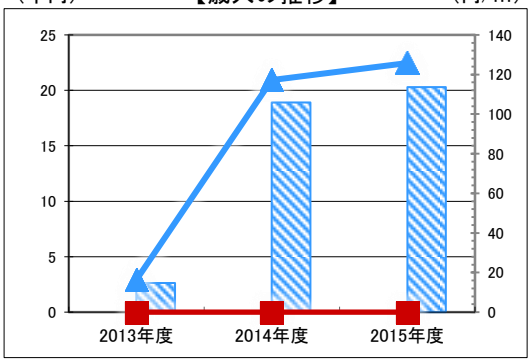
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	12	第136位	245	第140位
2014年度	27	第88位	546	第84位
2015年度	21	第100位	422	第103位

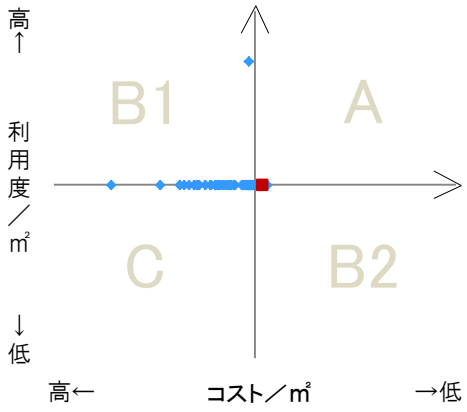
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：　■…当該施設　　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	33	施　設　名	内山下　分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	鉄骨コンクリート造	1997/03/31	2	0	49.05		

施設カルテ

施設番号	34	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	浮田　分団機庫		
所在地（住所）	東区沼1720-001-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	上道
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	上道中学校	小学校区	浮田小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	62.10 ㎡
目的外使用	無	建築面積	31.05 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	338.00 ㎡

施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

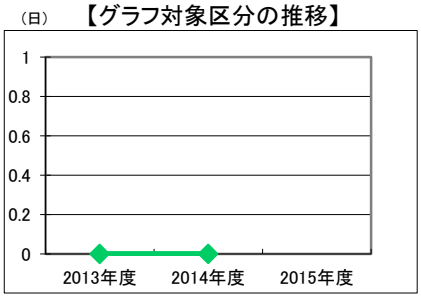
用途地域	指定なし	法定容積率	200　%	法定建蔽率	60　%
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1　棟	駐車台数	1　台

設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	バリアフリー化	出入口	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	2.0～5.0m未満
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		廊下等	×		津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	○		設備（電気）	×		階段	×		地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域
	通信設備	×		設備（雨水・中水）	×		昇降機	×		地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×		便所	×		地震・液状化危険度	高い
	入浴設備	×	分煙対策		全面禁煙		駐車場	×		土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用		無	開設年月日		1996/02/15	供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数（日）

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
［利用コマ数］,［利用可能コマ数］

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	34	施　設　名	浮田　分団機庫

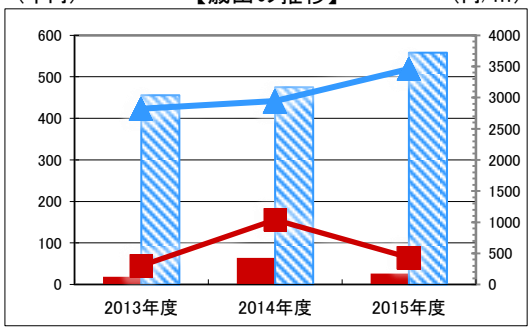
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				19	64	27
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	3	22	16
			ガス	0	0	0
			水道	16	9	10
		修繕費		－	33	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

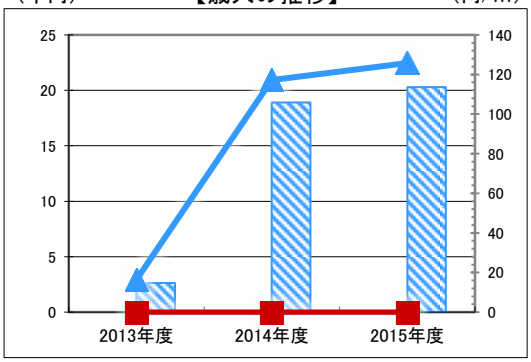
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	19	第106位	302	第125位
2014年度	64	第33位	1,037	第45位
2015年度	27	第73位	431	第99位

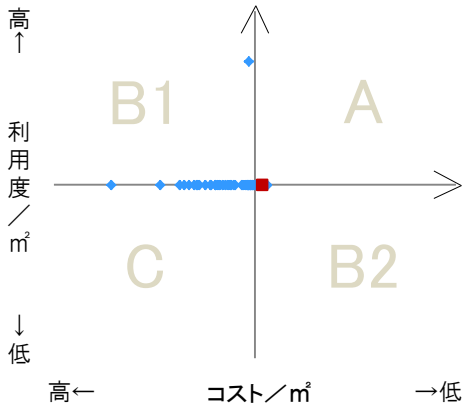
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	34	施　設　名	浮田　分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	木造Ⅰ	1996/02/15	2	0	62.10		

施設カルテ

施設番号	35	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	岡南　分団機庫		
所在地（住所）	北区青江二丁目0006-038-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	北区本庁管轄区域
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	岡輝中学校	小学校区	岡南小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	62.10 ㎡
目的外使用	無	建築面積	31.05 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	100.00 ㎡

施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

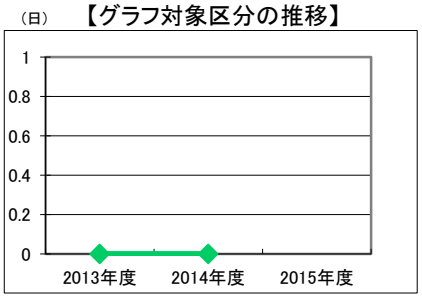
用途地域	第一種住居地域	法定容積率	200　%	法定建蔽率	60　%
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1　棟	駐車台数	1　台

設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	バリアフリー化	出入口	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	0.01～0.5m未満
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		廊下等	×		津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	○		設備（電気）	×		階段	×		地震・危険度	建物全壊率が10～20%の地域
	通信設備	×		設備（雨水・中水）	×		昇降機	×		地震・揺れやすさ	震度6強の地域
	調理設備	×		その他省エネ	×		便所	×		地震・液状化危険度	きわめて高い
	入浴設備	×	分煙対策		全面禁煙		駐車場	×		土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用		無	開設年月日		1996/03/15		供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数（日）

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
［利用コマ数］,［利用可能コマ数］

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	35	施　設　名	岡南　分団機庫

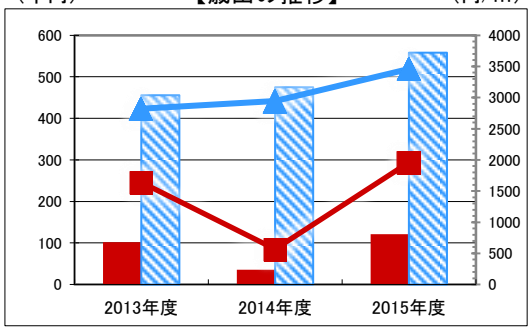
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				102	35	122
内訳	需用費	消耗品費		–	–	–
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	5	35	36
			ガス	0	0	0
			水道	0	0	0
		修繕費		97	–	86
	役務費			–	–	–
	委託料			–	–	–
	使用料及び賃借料			–	–	–
	備品購入費			–	–	–
	その他経費			–	–	–

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	–	–	–
非常勤	–	–	–

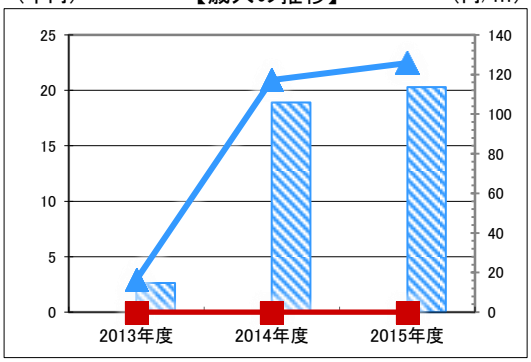
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	–	–	–
		（使用料）	–	–	–
		目的外使用料	–	–	–
		その他	–	–	–
	直営	使用料及び手数料	–	–	–
		目的外使用料	–	–	–

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	102	第26位	1,640	第40位
2014年度	35	第62位	568	第77位
2015年度	122	第26位	1,957	第27位

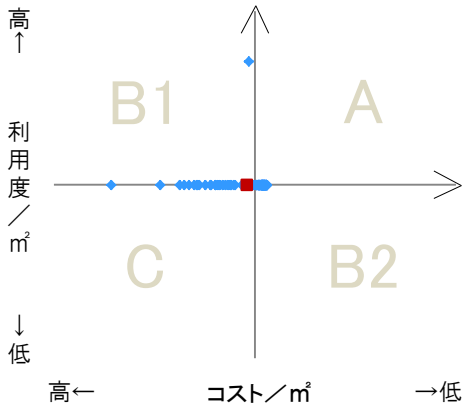
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	35	施　設　名	岡南　分団機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積（㎡）	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)車庫	木造Ⅰ	1996/03/15	2	0	62.10		

施設カルテ

施設番号	36	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09

施設基本情報

施　設　名	沖田分団（桑野）機庫		
所在地（住所）	中区桑野0480-027-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地　　区	中区本庁管轄区域
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	操南中学校	小学校区	操明小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	21.00 ㎡
目的外使用	無	建築面積	88.00 ㎡
土地所有状況	ー	敷地面積	88.00 ㎡

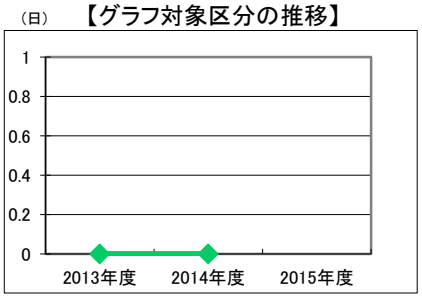
施設概要	消防施設　分団機庫
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もつて安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
設置根拠	消防法、消防組織法

用途地域	指定なし			法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %
用途地域以外の指定地域	指定なし			全棟数	1 棟	駐車台数	1 台
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮 自然エネルギー・太陽光	×	バリアフリー化 出入口	×	ハザードマップ指定 洪水時の浸水深	1.0～2.0m未満
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	廊下等	×	津波時の浸水深	1.0～2.0m未満
	冷暖房設備	×	設備（電気）	×	階段	×	地震・危険度	建物全壊率が5～7%の地域
	通信設備	×	設備（雨水・中水）	×	昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	便所	×	地震・液状化危険度	高い
	入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	開設年月日	1996/04/01	供用廃止日	ー

供給情報

区　　分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					

【グラフ対象区分の推移】



凡例　年間開館日数（日）

《注記》
★グラフ対象指標区分
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
［利用コマ数］,［利用可能コマ数］

備考

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	36	施　設　名	沖田分団（桑野）機庫

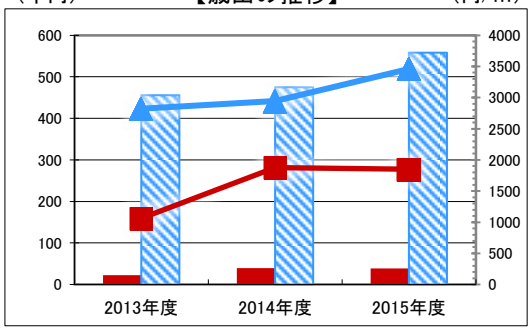
財務情報

●歳出

（千円）

区分				2013年度	2014年度	2015年度
歳出合計				22	39	39
内訳	需用費	消耗品費		－	－	－
		燃料費（ガソリン・重油）		0	0	0
		光熱水費	電気	14	31	30
			ガス	0	0	0
			水道	8	9	9
		修繕費		－	－	－
	役務費			－	－	－
	委託料			－	－	－
	使用料及び賃借料			－	－	－
	備品購入費			－	－	－
	その他経費			－	－	－

【歳出の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●運営人員数（人）

常勤	－	－	－
非常勤	－	－	－

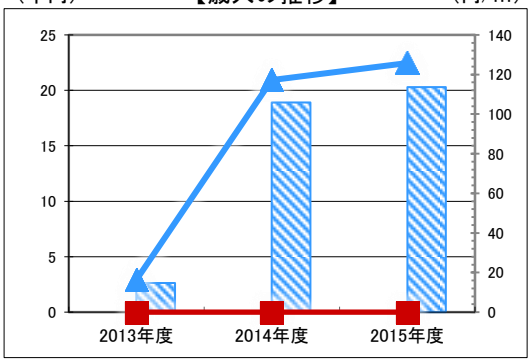
※運営人員数の人件費は理論値です。

●歳入

（千円）

区分			2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計			0	0	0
内訳	指定管理	利用料金	－	－	－
		（使用料）	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－
		その他	－	－	－
	直営	使用料及び手数料	－	－	－
		目的外使用料	－	－	－

【歳入の推移】



凡例	当該施設	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）
	分類平均	総額（千円）	延床面積あたり（円/㎡）

●施設分類内コストランキング（金額の高い順）

施設分類	消防施設		総施設数	195
区　分	総額（千円）		円／㎡	
2013年度	22	第85位	1,063	第44位
2014年度	39	第50位	1,877	第29位
2015年度	39	第47位	1,853	第30位

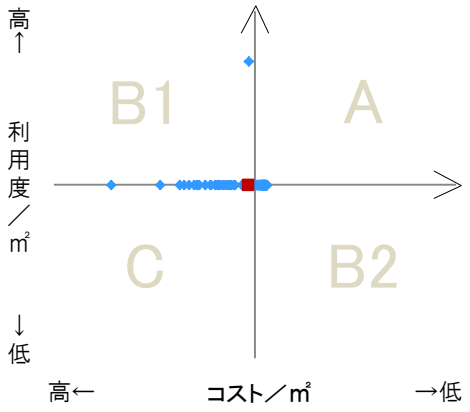
特記事項

施設メモ	

費用対効果分析

【費用対効果分析（建物基本情報調査による定量的な分析）】

〇費用対効果分析（㎡あたり利用度と㎡あたりコスト）



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例：■…当該施設　◆…比較対象（分類）の他施設

※利用度…供給情報の★印の項目値

施設カルテ

基準日 2015/04/01

施設基本情報

施設番号	36	施　設　名	沖田分団(桑野)機庫

建物(棟)基本情報

棟番号	建物名称	主体構造	建築年月日	階数		延床面積(㎡)	耐震診断	耐震改修
				地上	地下			
1	(その他)倉庫	軽量鉄骨造	1996/04/01	1	0	21.00		